

第18回

公認 パラスポーツ指導者 全国研修会

新しい時代に向けた パラスポーツ

～パラスポーツから発信するスポーツ指導者の在り方～

開催日時

令和5年 **12月9日** **土** - **12月10日** **日**
[13:00~17:00] [9:00~11:30]

会場

東北工業大学 長町キャンパス
(宮城県仙台市太白区二ツ沢6) ※仙台駅よりバスで20分

基調講演

12月9日 **土** 13:30~14:30



新しい時代に向けたパラスポーツ ～今、求められるパラスポーツ指導者とは～

発表者：岩佐 義明 氏

- 宮城県障害者総合体育センター施設長
- 車いすバスケットボールチーム 宮城MAX前ヘッドコーチ(現 アドバイザー)
- 2008北京、2012ロンドン、2020東京パラリンピック 車いすバスケットボール日本代表ヘッドコーチ

分科会

12月9日 **土** 15:00~17:00 / 12月10日 **日** 9:00~11:00 ※参加したい分科会を1日につき1つお選びください。

第1分科会

知的障がい・発達障がいがある 選手の支援について (陸上競技を中心に)

講師：濱中 一道 氏
●宮城県立支援学校岩沼高等学園 教諭
●陸上クラブ みやぎTFC コーチ



第4分科会

学校体育と地域連携

～特別支援学校における部活動から、
地域スポーツクラブでの実践について～

講師：相澤 晴朗 氏
●宮城県立支援学校岩沼高等学園 主幹教諭
●日本知的障がい者ソフトボール連盟 理事長



第2分科会

肢体不自由者のスポーツ指導方法

～脳原性麻痺者の転倒場面をリスクマネジメントと
トレーナビリティの視点から考える～

講師：佐藤 敬広 氏
●東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授
●公益財団法人日本パラスポーツ協会 技術委員



第5分科会

東北ブロックからの情報発信

～宮城県障害者スポーツ協会の取り組み
「パラスポーツコーディネーター配置事業」～

発表者：齋藤 友規 氏
●一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 障害者スポーツ振興推進員
●日本ブラインドサッカー協会 ロービジョンフットサル元日本代表監督



第3分科会

パラアスリートのための セルフコンディショニング

講師：荒谷 幸次 氏
●日本パラリンピック委員会 強化本部 トレーナー部会員
●インドネシア2018アジアパラ競技大会 日本選手団 本部トレーナー



- ◎自分の活動の幅を広げる情報がほしい!
- ◎地域での活動や指導に伴う不安を解消したい!
- ◎全国の指導者同士の交流を深めたい!

など、指導者として今後の活動につなげていただくことを
目的とした研修会です。是非、皆様のご参加をお待ちしております。



プログラムのご紹介

基調講演 / 12月9日(土) 13:30~14:30

新しい時代に向けたパラスポーツ ~今、求められるパラスポーツ指導者とは~

発表者：岩佐 義明 氏

- 宮城県障害者総合体育センター 施設長
- 車いすバスケットボールチーム 宮城MAX前ヘッドコーチ(現 アドバイザー)
- 2008北京、2012ロンドン、2020東京パラリンピック 車いすバスケットボール日本代表ヘッドコーチ

1989年に誕生した歴史ある車いすバスケットチーム「宮城クラブ」を前身とした「宮城MAX」発足当初からヘッドコーチを務めるなど、選手と一体になったチーム作りの立役者であり、日本選手権11連覇という前人未達の結果を残されました。これから、自らの地域でクラブチーム作りを目指すパラスポーツ指導者にとっても、岩佐氏の経験は力強い羅針盤として役立つことと確信しております。

また、初めて日本代表ヘッドコーチとして指揮した北京パラリンピック女子代表チームでは、予選リーグ全勝、シドニーパラリンピックに続くベスト4にチームを導きました。続くロンドンパラリンピックでは、岩佐氏をはじめ車いすバスケットボール男子日本代表の多くが「東日本大震災」を被災しましたが、大きな気力を得て選手とともに戦いました。目標のベスト4には届きませんでしたが、震災に負けることなく戦う姿は多くの人々に感動を与えました。岩佐氏自身が名付けた「ハヤテジャパン」との物語はパラスポーツ指導者として有益な糧になるお話を伺えることと思います。

分科会 / 12月9日(土) 15:00~17:00 / 12月10日(日) 9:00~11:00

第1分科会

知的障がい・発達障がいがある選手の支援について (陸上競技を中心に)

講師：濱中 一道 氏

- 宮城県立支援学校岩沼高等学園 教諭
- 陸上クラブ みやぎTFC コーチ

知的障がい・発達障がいがある選手のスポーツの支援、これまで講師自身がコーチとして関わってきた陸上競技の支援について、経験を踏まえたお話をいたします。障がい特性から、ちょっとした環境の変化で気持ちが不安定になってしまう選手達にとって、支えるのは「人」であること。選手と思いを共有し、時には起爆剤に、時には見通し役になることで、選手一人一人の「本気」、「全力」を引き出すためには、何が必要か。正解がない中で、講師自らが試行錯誤してきたことをお伝えしていきます。

第2分科会

肢体不自由者のスポーツ指導方法 ~脳原性麻痺者の転倒場面をリスクマネジメントとトレーナビリティの視点から考える~

講師：佐藤 敬広 氏

- 東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授
- 公益財団法人日本パラスポーツ協会 技術委員

障がい者にスポーツを指導・支援する際に起こり得る「転倒」。その背景には様々な要因が考えられます。「転倒」はリスクが伴う一方で、楽しく一生懸命に取り組もうとするが故に起こり得る事象の一つでもあります。本分科会では、グループワークと簡単な実技を通じて、脳原性麻痺者に起こり得る転倒場面について、様々なケースを想定しながらリスクマネジメント(危機管理)とトレーナビリティ(能力の向上)の両面から考えます。

第3分科会

パラアスリートのためのセルフコンディショニング

講師：荒谷 幸次 氏

- 日本パラリンピック委員会 強化本部 トレーナー部 部員
- インドネシア2018アジアパラ競技大会 日本選手団 本部トレーナー

競技パフォーマンスや生活パフォーマンスの向上には、日常的にコンディショニングやトレーニングを実践し、身体の可動性と安定性を身につけ、かつ力強く動かせることがポイントです。本分科会では、JPSA発行の季刊誌「NO Limit」や、日本パラスポーツ協会ホームページで紹介されているコンディショニング・トレーニングのコンセプトと実際の方法について講義と実技を交えて共有します。

第4分科会

学校体育と地域連携

~特別支援学校における部活動から、地域スポーツクラブでの実践について~

講師：相澤 晴朗 氏

- 宮城県立支援学校岩沼高等学園 主幹教諭
- 日本知的障がい者ソフトボール連盟 理事長

生徒の「部活動をしたい」という希望を叶えるために、特別支援学校でソフトボール部を結成し、全国障害者スポーツ大会出場に向けて取り組んだ内容について、実体験を踏まえた内容で講義をします。さらに卒業後もスポーツを通して夢や希望を抱き、自己実現を図るために、地域スポーツクラブへの移行と、国内の統括団体を設立した経緯を含めながら、指導者としての心構えについて講義をします。

第5分科会

東北ブロックからの情報発信

~宮城県障害者スポーツ協会の取り組み「パラスポーツコーディネーター配置事業」~

発表者：齋藤 友規 氏

- 一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 障害者スポーツ振興推進員
- 日本フラインドサッカー協会 ロービジョンフットサル元日本代表監督

2023年4月より、日本パラスポーツ協会委託事業「パラスポーツコーディネーター配置事業」の受託団体として取り組んでいます。障がい者スポーツ協会内に、専任のコーディネーターを配置し、パラスポーツの普及拡大や活力ある共生社会の実現を目指す中で、コーディネーターが企画・運営する「みやぎパラスポーツ.LAB」や、体験型Well-beingプログラム「パラぼ!」の紹介、企業や教育機関との協力・連携事例や今後の展望等を情報発信します。

申込方法

デジエントリー(スポーツイベントの情報・申込サイト)にてお申込みをいただけます。携帯電話のQRコード読み取り機能を利用して、アクセスすることができます。

URL:<https://dgent.jp/e.asp?no=2200561>

※申込サイトの使用方法については、デジエントリーに直接お問い合わせください。



お申込みはこちらから



詳しくはこちらから

申込期間

令和5年9月15日(金)~11月13日(月)

受講料

3,000円(JPSA公認パラスポーツ指導者 有資格者)

受講料は、受講区分により異なります。詳細は開催要項をご確認ください。
※入金は、デジエントリーで行います。(コンビニ振込、ペイジー、クレジットカード決済より選択可)
※選択した方法で、期限までにお支払いを完了してください。手数料は自己負担となります。

問い合わせ

公益財団法人日本パラスポーツ協会
スポーツ推進部 小島・富永
TEL:03-5695-5420
FAX:03-5641-1213
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6